

フローリングの小さなゴミやホコリを何とかしたい！

7月、いよいよ夏本番ですね。家のなかでは裸足で気持ちよく過ごしたいという方も多いでしょう。そこで、この時期とくに気になるフローリングのホコリ対策とお掃除方法に注目してみました。

ホコリの原因はどこ？

毎日しっかり掃除していても、いつのまにか出てくるホコリ。フローリングの上ではなおさら目立ちやすく、見つけるたびに気が滅入ってしまいます。このやつかいなホコリ、いったいどこから発生しているのでしょうか。

ホコリの多くは、洋服やふとん、カーペットやカーテン、ソファといった布製の家具などから出るワタボコリです。洋風の生活スタイルが、ホコリの発生源を増やしてしまっていると言えるかもしれません。それに加えて、髪の毛や外から知らず知らず持ち込まれる砂、小さなゴミ、ベットの抜け毛などもフローリングにたまってしまいがちです。

ときには、病気のリスクも

こうしたホコリは「ハウスダスト」の一部となり、アレルギー性鼻炎やぜんそく、アトピー性皮膚炎などのシックハウス症候群を発症させてしまうこともあります。とくにフローリングはホコリが舞いやすいので、体内に吸い込んでしまいうリスクも高くなることを心にとめておくべきでしょう。ハイハイができるようになった赤ちゃんがいる家庭では、つねにフローリングを清潔に保っておくことが重要です。

ではフローリングのホコリを逃がさず掃除するには、どうすればいいのでしょうか。

フローリング掃除 おすすめの手順



1 窓を開ける



2 掃除は上から下へが鉄則



6 濡れ雑巾やモップで仕上げ



5 残ったホコリは掃除機で



3 集めたホコリはフローリングワイパーで



4 取れない髪の毛などは粘着ローラー



いきなり掃除機、はダメ

人が動くだけでフワフワと宙を漂うホコリ。そんなクセモノの退治に、いきなり掃除機を使うのは得策ではありません。掃除機のブラシの回転や排気が、ホコリを拡散させてしまいます。「掃除機をかけたばかりなのに、もうフローリングがホコリっぽい」ということがよくあるのは、舞い上がったホコリが、また床に降りてきたからです。

さて、おすすめの手順を説明しましょう。まず、窓を開けてください。ホコリが部屋の外へ出て行きやすくします。掃除は上から下へ、が鉄則です。家具やテレビ、食器棚、冷蔵庫などの上のホコリを下に落としましょう。こうしてホコリを床に集め、フローリングワイパーなどで静かにホコリを取ります。取りきれない髪の毛などは、フローリング用の粘着ローラーを使うとラクに巻き取ってくれます。最後に、部屋のシミやフローリングの溝に残った小さなチリやホコリを掃除機で吸い取りましょう。さらに、よく絞った濡れ雑巾やモップで拭き上げれば、見違えるようにキレイになります。

2週間に1回は天井もチェック

ホコリは上から舞い落ちてくるものです。床ばかりでなく、天井や壁にも目を向けて、2週間に1回は掃除するように心がけましょう。このとき、照明やエアコンのホコリも取り除きたいものです。

一度にすべての部屋を済ませる必要はありません。今日はリビング、明日はキッチンという具合にローテーションを決めて、楽しく掃除していきましょう。